

■アート・クラフト学科カリキュラムの特色

アート・クラフト学科には、【美術領域】と【クラフト領域】の2つの専門領域があり、【美術領域】には、「絵画コース」「フィギュア・彫刻コース」「美術教育コース」の3コース、【クラフト領域】には、「ジュエリー・メタルワークコース」「ガラス・陶磁器コース」の2コースを設置しています。

カリキュラムは、美術およびクラフト分野全般の基礎となる「学科共通科目」、美術あるいはクラフトのいずれかを選択してそれぞれの基礎を学ぶ「領域科目」、コースに分かれて各専門的分野について学ぶ「コース科目」、そして卒業研究などの「特別研究」、以上の4つから構成されています。

■カリキュラムポリシー

アート・クラフト学科では、絶えず変化し複雑化する現代社会に対応しうる広い見識と創造性を有する作家と専門家の育成という教育目標を立てています。その実現のために、基盤となる幅広い知識や基礎的技能から高度な専門的領域へと展開するカリキュラムを構成しています。「学科共通科目」や「領域科目」では、学生の幅広い興味や関心に応え、領域を横断して広く基礎を学び、分野を超えた多角的視点から美術およびクラフトについて探求する姿勢を育成します。「コース科目」および「特別研究」では、学外から講師を招いたり、作品制作を中心とした少人数制の実習・演習を通して、より専門性の高い知識の蓄積と技能、表現力を修得し、作家として自己を確立した社会に貢献する人材育成を目指しています。

■学科共通科目

美術およびクラフトの分野において必要となる基本的科目を「学科共通科目」として、1年前期から3年後期にかけて開設しています。具体的な内容として、アート・クラフトの基礎的実習、色彩についての知識、イメージ形成、ドローイング実習、作品の記録、作品鑑賞法、材料と技法に関する知識などの習得があります。

■美術の領域科目とコース科目

【美術領域】を選択した学生は、「美術領域科目」で絵画と彫刻、美術教育の基本的な素材と表現について学びます。また、「版画表現」や「日本画技法」では、美術における表現や活動の領域を広げ、「美術教育演習」では作品の見方や知識の幅を広げ、美術についての考え方を深めます。

【美術領域】の「コース科目」は、「絵画コース」「フィギュア・彫刻コース」「美術教育コース」ともに、2年次の後期から「演習Ⅰ」として専門技法の修得に力を注ぎます。そして3年次前期の「演習Ⅱ」、後期の「演習Ⅲ」では表現に重点を移して作品制作を中心に学習します。

■クラフトの領域科目とコース科目

【クラフト領域】を選択した学生は、1年後期から2年前期にかけて「クラフト領域科目」を受講し、すべてのコースをローテーションして課題に取り組み、各素材の特徴と技法について基本を学びます。また、コースを横断した素材や技法を複合した課題にも取り組むこともでき、新しいクラフト表現についての基礎を築きます。

【クラフト領域】の「コース科目」では、各コースで2年後期に「演習Ⅰ」、3年次に「演習Ⅱ」「演習Ⅲ」を開設しています。少人数制による実習を通して、各分野の専門的知識と技術を身につけます。

■特別研究

- ・「卒業研究」では、学生が各自テーマを設定し、ゼミ形式で1年をかけて作品制作に取り組みます。2月に全学で開催する「卒展カオス」において4年間の集大成となる作品を発表します。
- ・社会での活動に対して単位を認定する「総合プロジェクト」や、就業体験に関する「インターンシップ」を設定しています。皆さんの自主的な取り組みを大いに奨励します。

■注意

- ・必ず皆さんに学んでほしい科目は、必修、ないしは選択必修としています。この科目を履修して単位を修得しないと卒業できませんので注意してください。また、科目により、履修に制限や条件を付けているものもありますから、各科目のシラバス（講義概要）をよく読んでください。
- ・4年次の卒業研究については以下の着手条件が定められています。
 1. 3年次までに開設されている必修・選択必修科目のうち、単位が修得できていない科目が原則として3科目以内であること。
 2. 3年次までに修得した単位のうち、卒業に必要な単位数の合計が原則として100単位以上であること。
- ・なお、教職課程については履修しなければならない科目が指定されているものもあります。教職課程に関するページを参照してください。

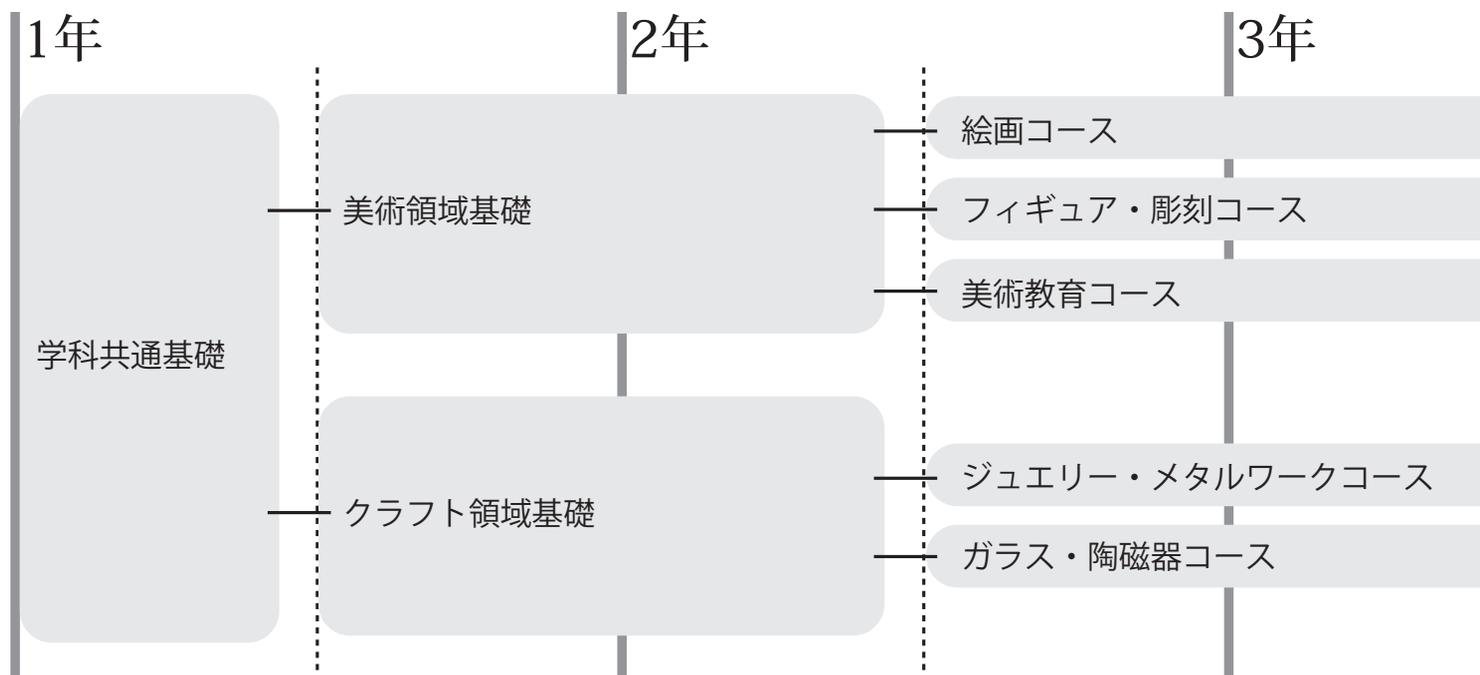
■領域、コース選択について

- ・アート・クラフト学科の学生は、1年後期から【美術領域】か【クラフト領域】のどちらかを選択して学習します。
- ・【美術領域】に進んだ学生は、領域科目を経て2年次後期より「絵画コース」「フィギュア・彫刻コース」「美術教育コース」のいずれかに分かれて学習します。
- ・【クラフト領域】に進んだ学生は、領域科目を経て2年次後期より「ジュエリー・メタルワークコース」「ガラス・陶磁器コース」の2つのいずれかに分かれて学習します。
- ・以上のようにアート・クラフト学科の学生は、2年次後期から5つのコースのいずれかに所属することになり、4年次では選択したコースで卒業研究に取り組みます。領域およびコース選択で、志望者に大きな偏りが発生した場合、工房設備等の許容人数を考慮して定員を設定することがあります。その場合の選考基準については、その時点での成績評価を参考に決定します。コース選択では、第2志望、第3志望も決めておいて下さい。

■その他

4年次には大学全体で「卒展カオス」が開催されますが、アート・クラフト学科では1～3年次の学年末にも各学年全員で作品展を行います。1、2年生は、大学内のギャラリーセレンディップにおいて「学年末作品展」を、3年生は学外のギャラリーで「Egg展」を開催して1年間の成果発表をします。

アート・クラフト学科 コース選択の流れ



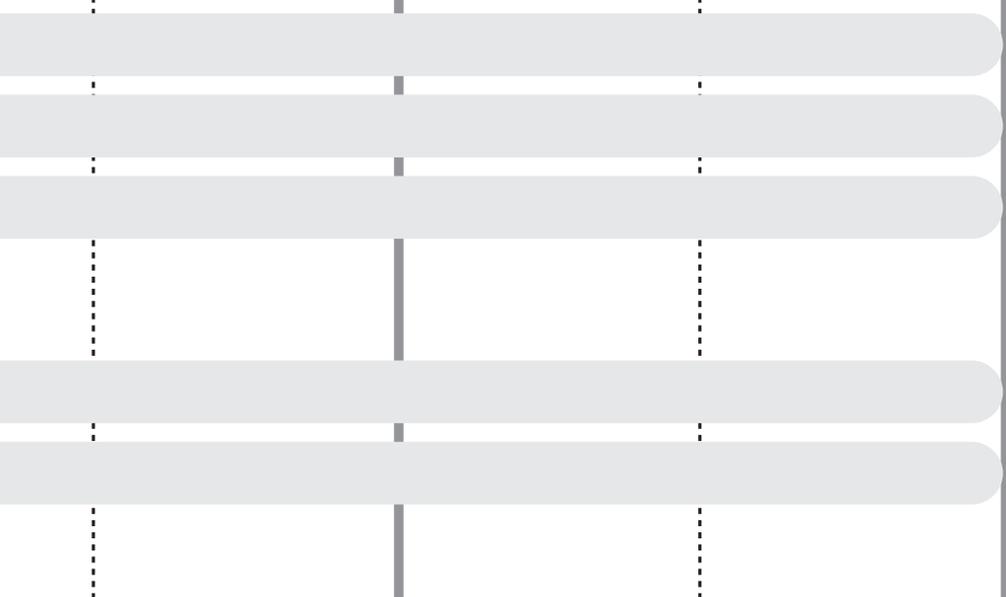
アート・クラフト学科 カリキュラム

アートクラフト

	1年		2年
	前期	後期	前期
【絵画コース】			
【フィギュア・彫刻コース】			
【美術教育コース】			
美術領域科目	●美術基礎実習[実]	■美術実習A[実]	■美術実習B[実]
【ジュエリー・メタルワークコース】			
【ガラス・陶磁器コース】	●クラフト基礎実習[実]	■クラフト実習A[実]	■クラフト実習B[実]
クラフト領域科目			
学科共通科目	●アート・クラフト概論[講] ○ドローイング[演] ○フレッシュマンセミナー[演]	○彫刻基礎[実] ●スケッチ・素描・イメージ[実] ○作品の見方[演]	○日本画技法[演] ○フィギュア技法[実] ○工芸史[講]

●必修科目 ■選択必修科目 ○選択科目 [講]講義 [実]実習 [演]演習

4年



	3年		4年		
	後期	前期	後期	前期	後期
	■ 絵画演習Ⅰ [演]	■ 絵画演習Ⅱ [演]	■ 絵画演習Ⅲ [演]	● 卒業研究 [実]	● 卒業研究 [実]
	■ フィギュア・彫刻演習Ⅰ [演]	■ フィギュア・彫刻演習Ⅱ [演]	■ フィギュア・彫刻演習Ⅲ [演]	● 卒業研究 [実]	● 卒業研究 [実]
	■ 美術教育演習Ⅰ [演]	■ 美術教育演習Ⅱ [演]	■ 美術教育演習Ⅲ [演]	● 卒業研究 [実]	● 卒業研究 [実]
	○ 版画表現 [演] ○ フィギュア表現 [演]			■ 美術特別演習 [演]	
	■ ジュエリー・メタルワーク演習Ⅰ [演]	■ ジュエリー・メタルワーク演習Ⅱ [演]	■ ジュエリー・メタルワーク演習Ⅲ [演]	● 卒業研究 [実]	● 卒業研究 [実]
	■ ガラス・陶磁器演習Ⅰ [演]	■ ガラス・陶磁器演習Ⅱ [演]	■ ガラス・陶磁器演習Ⅲ [演]	● 卒業研究 [実]	● 卒業研究 [実]
	○ 宝飾表現 [演] ○ 吹きガラス表現 [演] ○ 陶表現 [演]			■ クラフト特別演習 [演]	
	○ 美術工芸教育論 [講] ○ 色彩と表現 [講] ○ 模型・フィギュア造形論 [講]	○ 釉薬技法演習 [演] ○ ステンドグラス演習 [演] ○ 金属造形演習 [演] ○ アートプロジェクト論 [講] ○ ジュエリー表現 [演]	○ メディア演習A [演] ○ メディア演習B [演]		